

## 農業委員会事務局長の仕事宣言！

農業委員会事務局長 倉地 信夫

①重点施策項目名	農業委員会の活動計画を推進します
②目標値	遊休農地の解消 〔令和元年度〕現状値 5 ha⇒令和元年度末 4 ha
③今年度の取組方針	<p>農業委員会の活動計画の中で、中山間地の山林化した荒廃農地等の整理を行うとともに、中山間地の条件の悪い農地で、遊休農地が増加しないように取り組むことで、現状値から遊休農地を1 ha減らすことを目標としています。</p> <p>目標達成のために、農業委員会事務局は、農業委員や農地利用最適化推進委員と協力し、定期的な農地パトロールや農家との情報交換を行うことにより該当箇所を把握し、荒廃農地の解消に努めます。</p>
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員や農地利用最適化推進委員と協力し、農地の所有者の戸別訪問を行い、農業廃止や規模縮小を考えている農家の情報収集をしながら、担い手への農地集積を図り、遊休農地の解消に努めました。</li> <li>・農地パトロールにより遊休農地化しそうな農地を発見し、農地所有者に対し、今後の利用に関して意向調査を行い、自己管理の徹底や農地売買のあっせんの実施などをし、遊休農地の発生を抑えました。</li> <li>・急に耕作ができなくなった大規模農家の農地について、農業委員や農地利用最適化推進委員と協力し、地域の認定農業者などの担い手にあっせんする話し合いの場を設けましたが、本年度内の耕作には至りませんでした。ただし、次年度の耕作にはつなげる目途をつけることができました。</li> </ul>
⑤数値目標の結果	遊休農地の解消 〔令和元年度〕目標 4.0ha⇒実績 7.9ha
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<p>大規模農家2軒（農地面積合計約4 ha）の担い手が、急な病気等により本年度耕作することができず、また、新たな耕作者もすぐには見つからなかったため、結果として遊休農地となり、面積は増加しました。</p> <p>今後の対応として、次の事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地は各家庭だけでなく、他の農業者のサポート体制を作ります。</li> <li>・地域の実情に応じ、集落営農や法人による営農の促進により、大規模農家が急病等で耕作できなくなった農地を集落で継続して守ります。</li> <li>・農業法人や認定農業者など担い手への農地集積を図ります。</li> </ul>

## ◇経済部長の指示

引き続き、担い手への農地集積を図り、遊休農地の解消に努めること。